

(様式1-3)

南相馬市 帰還環境整備事業計画 帰還環境整備事業等個票

平成28年5月時点

※本様式は1-2に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	37	事業名	小高小学校大規模改造事業	事業番号	(1)-15-4
交付団体	南相馬市	事業実施主体(直接/間接)	南相馬市		
総交付対象事業費	130,380(千円)	全体事業費	130,380(千円)		
帰還環境整備に関する目標					
<p>小高区内における震災前の義務教育施設は、小学校4校と中学校1校が運営されてきたが、原子力災害の影響により、5年超えて区域外での仮設校舎運営を余儀なくされている。</p> <p>一方で本市は、小高区内での学校再開の時期を検討しているが、避難指示解除の時期を見据え、早期に小高小学校及び小高中学校の再開が可能となるよう調整している。しかし、原子力災害による長期避難によって適切な維持管理ができなかったことにより、外壁、廊下、階段、トイレなどに改修すべき箇所が散見されることから、校舎の大規模改修を実施し、教育環境を整備することによって小高区の帰還環境を整え避難住民の帰還の加速化を図る。</p>					
事業概要					
小高小校舎大規模改造工事					
・ 施工か所 南校舎、北校舎、渡り廊下					
・ 工事内容 階段・廊下等床改修、外壁改修					
・ 施工面積 述べ面積：9,902㎡					
費用：130,380千円					
【南相馬市復興総合計画 基本指針5 自ら学び、自ら考え、生きぬく力を育むまちづくり】 P120 基本施策(1) 学校教育の充実・整備 施策③ 安全・安心な教育環境の確保					
当面の事業概要					
<平成28年度>					
・ 工事内容 階段・廊下等床改修、外壁改修					
・ 施工か所 南校舎：延べ床面積1,426㎡					
北校舎：延べ床面積1,613㎡					
渡り廊下：延べ床面積169㎡					
外壁：面積6,694㎡					
地域の帰還環境整備との関係					
<p>学校は、言うまでもなく学校教育に欠かせない重要施設であり、改修工事は、小高区内の学校を再開させるために必要な事業のひとつである。今回、校舎内外部の改修や和式トイレの洋式化で、保護者が安心して子供を学校に通わすことができ、子どもたちも安心な学校生活を送ることができる条件が整う。このような地域に密着した教育施設の再開は、地域の帰還環境整備の重要な要素であり、避難住民に対し、整備された本来の学校環境を早期に確認してもらうことができる。</p>					
関連する事業の概要					
・ 小高小学校外構等整備事業・・・外構のカラー舗装、中庭芝生化					
・ 小高小学校トイレ改修事業・・・トイレの洋式化					
・ 小高小学校給食室改修事業・・・給食室改修					
・ 小高小学校グラウンド芝生化事業・・・グラウンドの芝生化					

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	

(様式1-3)

南相馬市 帰還環境整備事業計画 帰還環境整備事業等個票

平成28年5月時点

※本様式は1-2に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	38	事業名	小高小学校外構等整備事業	事業番号	◆(1)-15-4-1
交付団体		南相馬市	事業実施主体(直接/間接)	南相馬市	
総交付対象事業費		34,467千円)	全体事業費	34,467(千円)	
帰還環境整備に関する目標					
<p>小高区内における震災前の義務教育施設は、小学校4校と中学校1校が運営されてきたが、原子力災害の影響により、5年以上に渡り区域外での仮設校舎運営を余儀なくされている。</p> <p>一方で本市は、小高区内での学校再開の時期を検討しているが、避難指示解除目標時期を見据え、早期に小高小学校及び小高中学校の再開が可能となるよう調整している。しかし、小高小学校昇降口前の敷地内舗装や中庭は、長期にわたり適切な維持管理ができなかったために荒廃が著しい。</p> <p>小高小学校の再開に向け、荒廃が著しい外構や中庭を整備することにより、安全安心な教育環境を整え、小高区の帰還環境の整備を図る。</p>					
事業概要					
<p>・小高小学校外構等改修</p> <p>外構舗装、中庭改修工事</p> <p>施工面積・・・2,026㎡</p> <p>工事内容・・・外構カラー舗装、中庭人口芝生化</p> <p>費用：34,467千円</p> <p>【南相馬市復興総合計画 基本指針5 自ら学び、自ら考え、生きぬく力を育むまちづくり】</p> <p>基本施策(1) 学校教育の充実・整備 施策③ 安全・安心な教育環境の確保</p> <p>施策の展開④ 小高区学校の再開 P124</p>					
当面の事業概要					
<p><平成28年度></p> <p>・小高小学校外構等改修工事</p> <p>外構舗装工事 舗装面積：1,253㎡</p> <p>中庭改修工事 芝生化面積：773㎡</p> <p>工事内容・・・外構薄層カラー舗装工、中庭人口芝生化</p>					
地域の帰還環境整備との関係					
<p>地域に密着した教育施設の再開は、地域の帰還環境整備の重要な要素であり、避難住民に対し、整備された本来の学校環境を早期に確認してもらうことは、帰還環境として欠くことのできないものである。</p> <p>再開する小高小学校に通学する児童が安全に安心して通学できる環境を整備するとともに新たな魅力(特色)を作ることにより、保護者が子どもたちを再開する小学校に通わず判断の後押しとなる。</p>					
関連する事業の概要					
<p>小高小学校大規模改造事業・・・階段・廊下等床改修、外壁改修</p> <p>小高小学校給食室改修事業・・・給食室改修</p> <p>小高小学校トイレ改修事業・・・トイレの洋式化</p> <p>小高小学校グラウンド芝生化事業・・・グラウンドの芝生化</p>					

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載

関連する基幹事業	
事業番号	(1)-15-4
事業名	小高小学校大規模改造事業
交付団体	南相馬市
基幹事業との関連性	
<p>小学校再開に向けて階段や廊下などの床改修と校舎外壁の改修を大規模改造事業として実施し、安全・安心を確保すると同時に再開に向けた教育環境の整備を行う。</p> <p>大規模改造により校舎の安全を確保するとともに、荒廃が著しい昇降口前のカラー舗装化と中庭の芝生化を実施し、校舎を含む小高小学校全体の安全が確保され、基幹事業の効果をより高めることができる。</p> <p>また、グラウンドの芝生化や中庭の芝生化、外構をカラー舗装することで、小高小学校の新たな特徴を創出し保護者が再開する小高小学校に子どもを通わず判断を後押しする。</p>	

(様式1-3)

南相馬市 帰還環境整備事業計画 帰還環境整備事業等個票

平成28年5月時点

※本様式は1-2に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	39	事業名	小高小学校給食室改修事業	事業番号	(1)-15-5
交付団体	南相馬市		事業実施主体(直接/間接)	南相馬市	
総交付対象事業費	6,207(千円)		全体事業費	6,207(千円)	
帰還環境整備に関する目標					
<p>小高区内における震災前の義務教育施設は、小学校4校と中学校1校が運営されてきたが、原子力災害の影響により、5年以上にわたり区域外での仮設校舎運営を余儀なくされている。</p> <p>一方で本市は、小高区内での学校再開の時期を検討しているが、避難指示解除目標時期を見据え、早期に小高小学校及び小高中学校の再開が可能となるよう調整している。しかし、小高小学校給食室は、原子力災害により長期間放置され適切な管理ができなかったことにより、内壁・床等改善すべき箇所が散見されることから、改修を実施し、小高区の帰還環境の整備を図る。</p>					
事業概要					
小高小学校給食室改修工事					
・改修面積・・・273㎡					
・工事内容・・・床乾式化工、内壁塗装工					
費用：6,207千円					
【南相馬市復興総合計画 基本指針5 自ら学び、自ら考え、生きぬく力を育むまちづくり】					
基本施策(1) 学校教育の充実・整備 施策③ 安全・安心な教育環境の確保					
施策の展開④ 小高区学校の再開 P124					
当面の事業概要					
<平成28年度>					
小高小給食室改修工事					
・改修面積・・・床改修面積：125㎡ 内壁改修面積：148㎡					
・工事内容・・・既存塗装床撤去工、床乾式化工、内壁塗装工					
地域の帰還環境整備との関係					
<p>学校は、言うまでもなく学校教育に欠かせない重要施設であり、改修工事は、小高区内の学校を再開させるために必要な事業のひとつである。今回、給食室を改修することで、安全安心な学校給食を児童に提供でき、子どもたちも安心な学校生活を送ることができる条件が整う。このような地域に密着した教育施設の再開は、地域の帰還環境整備の重要な要素であり、避難住民に対し、整備された本来の学校環境を早期に確認してもらうことができる。</p>					
関連する事業の概要					
・小高小小学校給食室給食備品整備・・・給食備品整備(生活環境整備事業で実施)					
・小高小学校大規模改造事業・・・階段・廊下等床改修、外壁改修					
・小高小学校トイレ改修事業・・・トイレの洋式化					
・小高小学校グラウンド芝生化事業・・・グラウンドの芝生化					
・小高小学校外構等整備事業・・・外構のカラー舗装化、中庭芝生化					

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	

(様式 1-3)

南相馬市 帰還環境整備事業計画 帰還環境整備事業等個票

平成28年5月時点

※本様式は1-2に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	40	事業名	小高小学校トイレ改修事業	事業番号	(1)-15-6
交付団体	南相馬市		事業実施主体(直接/間接)	南相馬市	
総交付対象事業費	61,214(千円)		全体事業費	61,214(千円)	
帰還環境整備に関する目標					
<p>小高区内における震災前の義務教育施設は、小学校4校と中学校1校が運営されてきたが、原子力災害の影響により、5年以上にわたり区域外での仮設校舎運営を余儀なくされている。</p> <p>一方で本市は、小高区内での学校再開の時期を検討しているが、避難指示解除の時期を見据え、早期に小高小学校及び小高中学校の再開が可能となるよう調整している。しかし、原子力災害による長期避難によって適切な維持管理ができなかったことにより、外壁、廊下、階段、トイレなどに改修すべき箇所が散見されることから、トイレの大規模改修を実施し、教育環境を整備することによって小高区の帰還環境を整え避難住民の帰還の加速化を図る。</p>					
事業概要					
<p>小高小校舎トイレ改修工事</p> <ul style="list-style-type: none">・北校舎、南校舎のトイレ床・内壁改修及び便器洋式化・費用：61,214千円 <p>【南相馬市復興総合計画 基本指針5 自ら学び、自ら考え、生きぬく力を育むまちづくり】 P120 基本施策(1) 学校教育の充実・整備 施策③ 安全・安心な教育環境の確保</p>					
当面の事業概要					
<p><平成28年度></p> <p>小高小学校トイレ改修工事</p> <ul style="list-style-type: none">・施工か所 北校舎、南校舎・工事内容 トイレ床・内壁改修及び便器洋式化・改修か所 男女とも11か所					
地域の帰還環境整備との関係					
<p>学校の改修工事は、小高区内の学校を再開させるために必要な事業である。今回、和式トイレの洋式化により、教育環境は向上し保護者が安心して子供を学校に通わすことができ、子どもたちも安心な学校生活を送ることができる条件が整う。このような地域に密着した教育施設の再開は、地域の帰還環境整備の重要な要素であり、避難住民に対し、整備された本来の学校環境を早期に確認してもらうことができる。</p>					
関連する事業の概要					
<ul style="list-style-type: none">・小高小学校大規模改造事業・・・廊下、階段等床改修、外壁改修・小高小学校外構等整備事業・・・外構のカラー舗装化、中庭芝生化・小高小学校給食室改修事業・・・給食室の改修・小高小学校グラウンド芝生化事業・・・グラウンドの芝生化					
※効果促進事業等である場合には以下の欄に記載					
関連する基幹事業					
事業番号					
事業名					
交付団体					
基幹事業との関連性					

(様式1-3)

南相馬市 帰還環境整備事業計画 帰還環境整備事業等個票

平成28年5月時点

※本様式は1-2に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	41	事業名	小高小学校グラウンド芝生化事業	事業番号	◆(1)-15-3-1
交付団体	南相馬市		事業実施主体(直接/間接)	南相馬市	
総交付対象事業費	149,965(千円)		全体事業費	149,965(千円)	
帰還環境整備に関する目標					
<p>小高区内における震災前の義務教育施設は、小学校4校と中学校1校が運営されてきたが、原子力災害の影響により、5年以上にわたり区域外での仮設校舎運営を余儀なくされている。</p> <p>一方で本市は、小高区内での学校再開の時期を検討しているが、避難指示解除目標時期を見据え、早期に小高小学校及び小高中学校の再開が可能となるよう調整している。小高小学校グラウンドは屋外環境整備事業により震災前のグラウンド機能を回復した。</p> <p>回復したグラウンド機能を向上するとともに芝生化するグラウンドを小高小学校の魅力(特徴)の一つとして保護者に周知することで、子どもたちを再開する小高小学区に通学させる判断の一助とするとともに安全で安心な教育環境を整え、小高区の帰還の環境整備を図る。</p>					
事業概要					
小高小学校グラウンド芝生化					
・グラウンドの芝生化による教育環境の向上					
施工面積・・・7,500㎡					
工事内容・・・芝張り					
費用：149,965千円					
【南相馬市復興総合計画 基本指針5 自ら学び、自ら考え、生きぬく力を育むまちづくり】					
基本施策(1) 学校教育の充実・整備 施策③ 安全・安心な教育環境の確保					
施策の展開④ 小高区学校の再開 P124					
当面の事業概要					
<平成28年度>					
・グラウンド芝生化工事					
小高小学校グラウンド・・・施工面積7,500㎡					
工事内容・・・芝張り(下層路盤工・人口芝張り・歩道境界ブロック設置工)					
地域の帰還環境整備との関係					
<p>地域に密着した教育施設の再開は、地域の帰還環境を整備するうえの重要な要素であり、避難住民に対して整備された学校施設を早期に確認してもらうことは、帰還環境として欠くことのできないものである。</p> <p>小高小学校で震災前以上の教育環境、特徴ある教育環境を確保し、新たな魅力(特徴)を作ることにより、保護者が子供たちを再開する小学校に通学させる判断の後押しなる。</p>					
関連する事業の概要					
小高小学校大規模改造事業・・・階段・廊下等床改修、外壁改修					
小高小学校トイレ改修事業・・・トイレの洋式化					
小高小学校外構等整備事業・・・外構のカラー舗装化、中庭芝生化					
小高小学校給食室改修事業・・・給食室改修					

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載

関連する基幹事業	
事業番号	(1) - 15 - 3
事業名	小高小学校施設環境改善事業（屋外教育環境整備）
交付団体	南相馬市
基幹事業との関連性	
<p>小高区においては、ハード・ソフトの両面から震災前以上の教育環境、特徴ある教育環境を確保することによって放射能不安を払しょくし、多くの児童の帰還につなげる必要がある。</p> <p>平成27年度に屋外教育環境整備として実施したグラウンドの表面を芝生化は、整備したグラウンド機能を向上させるとともに、特徴ある教育環境の一翼を担うことが可能となり、再開する小高小学校に多くの児童を通学させるために必要な事業のひとつである。</p> <p>また、芝生化は整備したグラウンドの安全面の確保につながる事業である。</p>	